

- = 県政与党系
- = 県政野党系
- = 中立系

島尻・南城市区

候補者名 (敬称略)	年齢 (5月3日時点)	政党	憲法改正について	その理由	憲法9条について	その理由	憲法9条以外の憲法改正についての考え
座波一	64	自民現2	変えた方がいい	時代に合った憲法に変えることは、民主国家として当然である。現憲法の理念は尊重されるべきである。	自衛隊についてのみ明記した方がいい	防衛力を伴った外交こそ、効果が現れる。理想、空想で平和を主張しても、実現できない。そのためにも、自衛隊を明確に憲法に位置づけるべき。	緊急事態に対応できる条項を作るべきであり、現在は災害対策基本法でしかすべての事態に対応できない。
玉城武光	75	共産現2	変えない方がいい	「専守防衛」を投げ捨てよと叫び、9条改憲案を提示し、「核共有」を岸田政権はけしかけている。「力対力」で対抗したら際限のない悪循環に陥り、戦争への危険を増大させる。	変えない方がいい	戦争放棄の平和憲法は改定すべきでない。	戦争放棄の平和憲法は改定すべきでない。
徳田将仁	36	自民新	変えた方がいい	時代の変化に対応していくことは大切なことであると考えている。	自衛隊以外の内容も含めて全体的に変えた方がいい	自衛隊を憲法に位置づけ、現行の9条1項・2項とその解釈を維持しながら、自衛隊を明記し自衛権についても言及すべき。	憲法においても時代の変化に対応していくことは大切なことであり、改正については衆参両議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が発議をし、国民に提案し、その承認を経ることから、主権者である国民の判断を仰ぐことが重要である。
瑞慶覧長風	30	社大新	変えない方がいい	現行憲法において改正すべき必要性は見当たらない。改正の議論ではなくまずは憲法の理念に沿った政治の実現を目指すべきである。	変えない方がいい	憲法の柱である9条の改定は政府による権力集中や民主主義の侵害を招きかねず、国民の権利や自由を脅かす恐れがある。世界に信頼される平和国家として発展するためにも、今後も守るべきである。	現行憲法において改正すべき必要性は見当たらない。改正の議論ではなくまずは憲法の理念に沿った政治の実現を目指すべきである。
新垣善之	45	無新	変えた方がいい	現代の生活様式も鑑み、国民の議論が高まれば、時代に合った改正を望む。	自衛隊についてのみ明記した方がいい		